

おおず しんいち  
大頭 眞一 [著]

1960年神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン・セオロジカル・カレッジ（BA、MA）と関西聖書神学校で学ぶ。日本イエス・キリスト教団香登教会伝道師・副牧師を経て、現在、京都府・京都信愛教会 / 明野キリスト教会牧師、関西聖書神学校講師。

# 聖書はさらに物語る

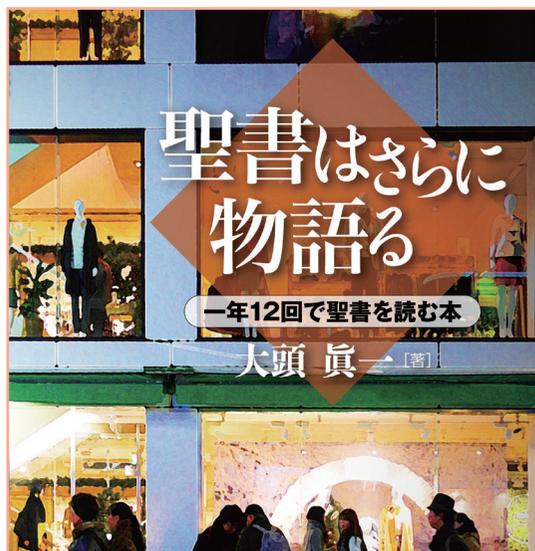
## 一年12回で聖書を読む本



6月10日重版出来

お待たせしました  
5刷出来！

各地で学び会テキストの要請続々！



工藤信夫師・評（精神科医・平安女学院名誉教授）

### 聖書を「神の物語」と捕らえ、 私共の人生の四季折々に介入してくださる御方として紹介！

……これまでキリスト教界の多くの出版物は人を教え導く律法主義的なニュアンスが多すぎ、多様性に満ちた人間というもの、また人生というものの躍動を平坦化形式化してきたのではないだろうか。

この点、本書は聖書を「神の物語」と捕らえて、この関係性の中で人は生き得ることを意図していることは興味深いことである。これは最近様々な立場の人が「聖書物語」を様々な角度から書き始めている事実と照らし合わせると、聖書に記された出来事は今の私共の人生に介入し“見えざる道連れ”、その伴走者・同労者であると主張したP・トゥルニエの『人生の四季』と符合しておもしろい視点である。聖書を「神の物語」と捕らえ、私共の人生の四季折々に“私共に語りかけ、私共の人生に介入してくださる御方”として紹介して下さった大頭眞一氏の御労に深く敬意を表す次第である。……（『聖書はさらに物語る』本のひろば書評より抜粋）

神と人がガチンコに向き合っている聖書！

「聖書の奇蹟はほんとうに起こったのか？」「聖絶は史実か？」「自然災害は神の裁きか？」「一神教はなぜ戦争をするのか？」など、聖書に取り組む時に沸き起こってくる疑問にも真摯に答えつつ聖書の全体像をわかりやすく概説。「一年12回で聖書を読む会」第2年目の学びを集成。現代人が聖書に向き合うことを励ましてくれるハンディ・ガイドブック。好評を博した「聖書は物語る一年12回で聖書を読む本」に続く第2弾！ YOBEL, Inc. 定価（本体1,100円＋税）

主な目次

すいせん文 平野克己

第1回 カインとアベル  
第2回 ノアの洪水  
第3回 サムソンとデリラ

第4回 エリヤとエリシャ  
第5回 魚にのまれたヨナ  
第6回 神はそのひとり子を  
第7回 山上の説教  
第8回 神の国の譬え  
第9回 ペテロの生涯

第10回 律法と福音  
第11回 つまるところ、イエス・キリストとはだれなのか？  
第12回 つまるところ、聖書とは何か？

豆知識：[改訂] 聖書の読み方について 久下倫生  
豆知識：知恵文学について 森喜啓一

A5判・112頁・本体1,100円＋税  
ISBN978-4-907486-19-8 C0016

改訂第8刷発売中 聖書は物語る 一年12回で聖書を読む本 A5判・112頁・本体1,100円＋税 ISBN978-4-946565-84-7